

日本液体微粒化学会
会長 調 尚孝
第26回微粒化シンポジウム
実行委員長 壹岐 典彦

機器展示・カタログ展示へのご協力のお願い

拝啓 御社益々ご隆昌のこととお慶び申し上げます。

本学会では、毎年12月に研究発表講演会である「微粒化シンポジウム」を開催しておりますが、お蔭様で本シンポジウムも広く周知されるようになっております。これもひとえに御社をはじめ関係各位の絶大なるご支援の賜物であると、心より御礼申し上げます。今年度は別紙の通り、平成29年12月19日、20日の2日間にわたり《第26回微粒化シンポジウム》を開催する予定で準備を進めております。

さて、従来このシンポジウムでは、参加者の情報源として、微粒化に関連する機器・ソフトウェア等のカタログ及び機器展示を行い、好評を得て参りました。つきましては、今回是非、御社にもこの機器展示・カタログ展示にご出展をお願いいたしたく、ご案内申し上げます。

本シンポジウムは、微粒化だけを扱う唯一の講演会であり、各分野の垣根を越えて、噴霧、粉末製造、塗装、燃焼などに関連した研究者や技術者が多数参加し、情報の交換を行っております。この機器展示・カタログ展示も情報源として大変重要視されており、御社におかれましても非常に有益な場と存じます。

ご協力いただけます場合には、添付ファイル「展示申込書-2017.doc」に必要事項をご記入の上、**平成29年11月16日(木)**までにファックス又はメールにてご返送いただけますと幸いに存じます。

誠に勝手なお願いですが、微粒化に関係する研究者、技術者のために是非ともご協力いただければ幸甚に存じます。末筆ながら、御社の益々のご発展をお祈り申し上げます。

敬具

送付先：〒376-8515 群馬県桐生市天神町1-5-1
群馬大学大学院理工学府知能機械創製部門
座間 淑夫
Tel. 0277-30-1523/Fax. 0277-30-1521
E-mail: yzama@gunma-u.ac.jp

『機器展示・カタログ展示』協力参加の募集

1. 微粒化シンポジウムの概要

論文数：約50件

出席者：微粒化に関係する研究者、技術者 約150名

日時：平成29年12月19日（火）、20日（水）

場所：産業技術総合研究所 臨海副都心センター 別館

〒135-0064 東京都江東区青海2-3-26

詳しい展示場所につきましては、お申し込み頂いた方に追ってご案内いたします。

2. 機器展示・カタログ展示に関する概要

会場：講演会場に接したスペースを展示場として使用し、参加者が機器の展示・実演を見学すると共に、自由にカタログやパンフレットを持ち帰れるようにします。下記の【機器展示】と【カタログ展示】の2種類が可能です。

展示物：(1)機器展示：カタログと共に機器を展示し、デモンストレーションを実施していただくことが可能です。但し機器の操作には専属の係員をご配置下さい。機器を置くために60cm×150cm程度の机を準備することを予定しており、電源の使用が可能です（必要な電源を申込書にご記入願います。ただし、1ブース当たり、**300W**（100V×3A）の割当を予定しております）。より広いスペース、電源の容量をご希望の場合は、別途ご相談下さい。なお、講演会への無料参加は2名となります。

(2)カタログ展示：原則として、カタログやパンフレット類（各カタログ100部程度）の展示が可能です。必要に応じて商品の現物を展示していただいても結構ですが、電気、ガス、水等の準備はいたしません。カタログを数点置くスペースを確保いたします。パネルや商品等を置きたい場合には、申込書にその旨を明記して下さい。直接微粒化に関係しないカタログでもPRを兼ねて展示していただいても結構です。また、説明の係員を配置していただいても結構ですが、講演会への無料参加は1名のみです。

なお、申し込み件数が多く、会場のスペースや電源の容量を超える場合には、誠に恐縮ながら申し込みを打ち切らせていただくことがあります。何卒ご了承ください。

参加費：(1)機器展示とデモンストレーションを行う場合には、1件100,000円

(2)カタログ展示、パンフレット展示のみの場合は、1件25,000円 広いスペースをご希望の際には追加分として20,000円をいただくことがありますので、別途ご相談下さい。誠に恐縮ですが、参加費お支払いの際に要する振込み料などの費用はご負担願います。なお、技術懇談会への参加は、いずれの展示とも有料になります。

3. 申込方法

パンフレット等の展示にご協力いただけます場合は、平成29年11月16日（木）までに、別紙申込書（展示申込書-2017.doc）をご利用いただき、ファックス又はメールにてお申込下さい。

送付先：〒376-8515 群馬県桐生市天神町1-5-1

群馬大学大学院理工学府知能機械創製部門

座間 淑夫

Tel. 0277-30-1523/Fax. 0277-30-1521

E-mail: yzama@gunma-u.ac.jp

4. 展示方法

(1)カタログの展示につきましては、展示するカタログ類を事前にお送り下さい。また、御社で並べられる場合には、当日ご持参いただいても結構です。

(2)カタログの展示は、第1日目の昼までに行います。学会で展示するか、御社で展示されるかを申込書に明記して下さい。

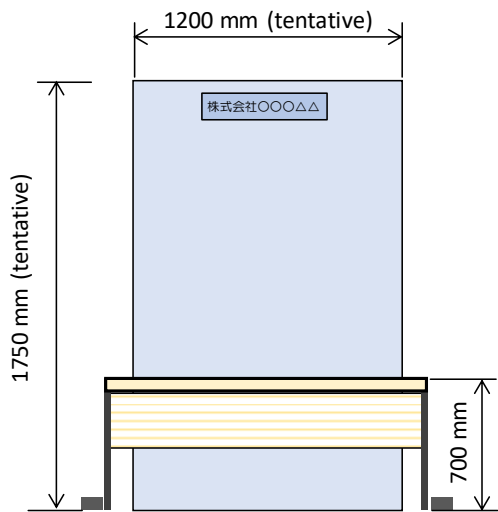
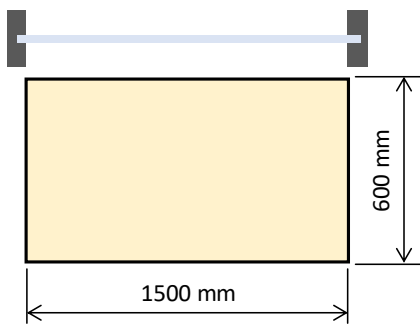
(3)機器の展示・実演の準備は、第1日目の午前中をお願いいたします。

5. 支払方法

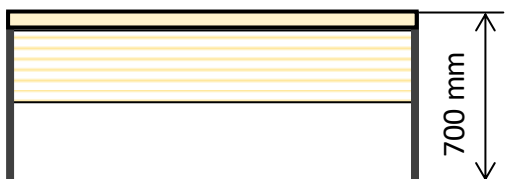
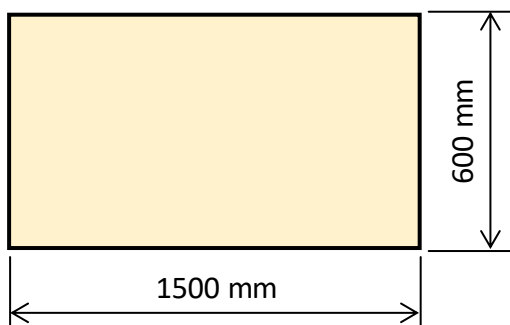
申込書を受け取り次第、請求書をお送りいたします。

機器展示ブース

電源：1ブースあたり **300W** (100V×3A)



カタログ展示ブース



カタログ展示には、企業名パネルの掲示は
いたしません。何卒、ご容赦ください。

第26回微粒化シンポジウム

Twenty-sixth Symposium (ILASS-Japan) on Atomization

日本液体微粒化学会

第26回 微粒化シンポジウム実行委員会

委員長 壹岐 典彦

主催 日本液体微粒化学会 (ILASS-Japan)・日本エネルギー学会

協賛 ILASS-Korea, エネルギー・資源学会, 応用物理学会, 化学工学会, 可視化情報学会, 自動車技術会, 静電気学会, 石油学会, 日本画像学会, 日本ウォータージェット学会, 日本エアロゾル学会, 日本化学会, 日本ガスタービン学会, 日本機械学会, 日本原子力学会, 日本工業炉協会, 日本航空宇宙学会, 日本混相流学会, 日本耳鼻咽喉科学会, 日本伝熱学会, 日本塗装技術協会, 日本塗装工業会, 日本燃焼学会, 日本農作業学会, 日本バーナ研究会, 日本マリンエンジニアリング学会, 日本薬学会, 日本流体力学会, 農業食料工学会, 農業施設学会, 農業農村工学会, 粉体工学会, 粉体粉末冶金協会 (依頼中を含む)

後援 産業技術総合技術研究所

1. 開催趣旨 微粒化技術は、エネルギー機器・粉体製造・医薬・農薬・食品・塗装・環境制御など、広く利用されているためその重要性はますます高まっています。本シンポジウムは、多方面からの研究者・技術者が集まり、研究成果や研究開発中に生じた問題点や解決策の報告をとおして、産官学が一体となって微粒化技術の新しい展開を図ることを目的としています。

2. 開催要領 日程：2017年12月19日（火）－20日（水）

場所：産業技術総合研究所 臨界副都心センター 別館

(〒135-0064 東京都江東区青海2-3-26)

新交通ゆりかもめ「テレコムセンター」駅下車 徒歩3分

詳細は <http://www.aist.go.jp/waterfront/ja/access/> をご参照下さい。

3. 内容 一般講演、特別講演、技術懇談会および微粒化関連の機器展示とカタログ展示等を企画しております。

オーガナイズドセッションのテーマとオーガナイザ

① 最新計測技術

座間 淑夫 (群馬大学)、

文 石洙 (産業技術総合研究所)

一般講演：◆ 噴霧燃焼, 噴霧冷却, 表面処理等の工業技術における微粒化

◆ コロイド, エマルジョン等の化学工業における微粒化

◆ 液体の分裂機構, 噴霧の挙動, 二相流等の流体力学的解明と微粒化

◆ 液滴の蒸発・混合気形成過程, 混相流, マイクロバブル

◆ その他微粒化関連分野

一般講演の種類：次の2つがあります。

(1) 研究講演 [A4原稿4 - 8頁]：研究や開発の成果を公表するもの。

(2) 速報講演 [同2 - 4頁]：研究や開発途中の新事実や問題点を指摘するもの。

資料や事例なども含みます。

なお、講演の採否は学会にご一任下さい。

優秀講演賞：2017年1月1日時点で40歳以下の若手講演者を対象にした優秀講演賞の表彰を行いません。

日本エネルギー学会奨励賞：日本エネルギー学会の会員で講演時に35歳以下の方は日本エネルギー学会奨励賞候補者の推薦対象になります。

4. 講演申込方法

(1) 講演申込締切：2017年9月1日（金）までに Web サイト (<http://www.lass-japan.gr.jp>) からお申込ください。

- (2) 論文原稿締切：2017年10月23日（月）までに、執筆要領にしたがって作成した原稿のPDFファイルを「講演論文担当事務局」宛にご送付ください。原稿フォーマットはWebサイト (<http://www.ilass-japan.gr.jp>) よりダウンロードしてご使用下さい。なお、原稿はシンポジウムの講演論文集に掲載されるだけでなく、その一部が日本液体微粒化学会発行の学会誌「微粒化」に掲載されるシンポジウム報告等の記事に転載されることがあります。

—講演論文担当事務局—

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

大阪市立大学 大学院 工学研究科 機械物理系専攻

「第26回微粒化シンポジウム」講演論文担当幹事 脇本 辰郎

TEL: 06-6605-2965 E-mail: wakimoto@mech.eng.osaka-cu.ac.jp

- (3) 講演方法について

講演時間は25分（発表15分，討論10分）を予定しています。講演会場には液晶プロジェクターを用意しますので、講演者はノートパソコンをご持参いただきますようお願いいたします。

5. 参加申込方法 シンポジウム参加要領は以下のとおりです。（講演者も参加申込が必要です。）
（参加申込みのWebサイトからのお申込み受付開始は6月中を予定しています。※会場の利用ルールにより、「セミナー等参加者カード」の着装と明示が必要で、参加者名簿を会場に事前提出しますので、事前申込にご協力下さい。申込期限後であってもご連絡頂ければ幸いです。）

- (1) 参加費： シンポジウム参加費には講演論文集代を含みます。技術懇談会は12月19日の講演終了後に開催されます。なお、協賛学協会の会員の方々は「会員」の資格で参加できます。

シンポジウム参加費	会員 事前申込	6,000円	(申込期限後 7,000円)
	非会員 事前申込	11,000円	(申込期限後 12,000円)
	学生 事前申込	3,000円	(申込期限後 4,000円)
技術懇談会参加費	一般 事前申込	5,000円	(申込期限後 6,000円)
	学生 事前申込	1,000円	(申込期限後 2,000円)

※非会員の方はこの機に是非ご入会下さい。（年会費：[正員:3000円，学生員:1000円]，入会金：なし）入会方法については<http://www.ilass-japan.gr.jp/> をご参照下さい。シンポジウム会場でもご入会を受け付けております。

- (2) 事前申込方法：2017年12月1日（金）までに、Webサイト (<http://www.ilass-japan.gr.jp>) からお申し込みのうえ、下記の銀行口座に参加費の合計額をお振り込み下さい。Webサイトからの申込のみでお振り込みが無い場合には、当日、申込期限後の金額をいただきます。

—銀行口座—

みずほ銀行 日吉支店 普通口座番号：2101416

口座名称：日本液体微粒化学会

—参加担当事務局—

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1 工学部7号館

東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻

「第26回微粒化シンポジウム」参加担当幹事 井上 智博

TEL: 03-5841-0351 E-mail: inoue@rocketlab.t.u-tokyo.ac.jp

6. 実行委員会

委員長	壹岐 典彦（産業技術総合技術研究所）
副委員長・会場担当	野村 浩司（日本大学）
幹事・講演プログラム/講演論文集担当	脇本 辰郎（大阪市立大学）
幹事・参加/会計担当	井上 智博（東京大学），
幹事・広報担当	尾形 陽一（広島大学）
幹事・表彰担当	瀬尾 健彦（山口大学）
幹事・機器展示依頼担当	座間 淑夫（群馬大学）
委員・会場担当	文 石洙（産業技術総合研究所）
委員	榎本 啓士（金沢大学），大嶋 元啓（富山県立大学），小熊 光晴（産業技術総合研究所），小橋 好充（北海道大学），辻村 拓（産業技術総合研究所）